「テンジュ」 ―生きる禍

テンジュ科

危険度：☆☆☆☆☆

生息数：？

生態

このテンジュはまだ発見されていない禍である。しかしテンジュ科の禍という存在は人間に人間らしい全てを与える存在であり、そうなるとこのような禍が必ず存在しているはずなのである。
この禍はきっと人間に「命」を与えているだろうと推測されている。そして恐らくは「生きること」によるストレスを摂取しているのではないだろうか。

解説

「生きること」とはどういうことかと言えば、それは「孤独」であるということである。そしていつか「死ぬ」ということである。これらは人間にとって良くないことなのであろうか？　もし人間が「孤独でない」存在、つまり他と完全に理解しあい、区別できない存在であったならどうだろうか？　「死」についても同じで、もし「死なない」存在、つまり生きてもいない存在であったならどうか。テンジュが人間に与えたものはきっとそれと対極のものであり、きっとそれは祝福なのではないだろうか。

対処法

もしこの禍へ対処したいのであれば、そう思いながら世界を見つめるといい。
きっとテンジュはすぐに見つかるだろう。
それを煮るなり焼くなり、好きにすればいい。